



Q これから暑い時期を迎えるにあたり、会社の作業員が熱中症にかからない「休ませて様子を見て

かと心配です。注意すべき事項について教えてください。

A 全国の職場では毎年、熱中症で約20人が亡くなり、約千人が4日以上仕事を休んでおり、近年は死者数が増加傾向にあります。

熱中症予防対策のポイントは

いたところ容態が急変した「倒れているところを発見された」など、適切に対応できず、救急搬送などが遅れたケースもあります。熱中症の発生リスクを的確に把握する指標として「WBGT値」があります。最近では新型コロナウイルス感染症は単に気温が高いのみで発生するものではありません。WBGT値とは気温、湿度、放射熱から算出される暑さ指数で、熱中症対策の目安に用いることができます。厚生労働省では5月WBGT値を測り、から「STOP!熱中身体的な作業強度などを加味して示される「WBGT基準値」と比較することでリスクや実情に応じた対策を講ずるようになっています。その他、体調管理や定期的な水分補給、また熱中症を発症した際の救急処置、医療機関の把握などを労働者へ周知、教育することも大切です。